

枚方市駅周辺地区 第一種市街地再開発事業 整備計画概要に関する説明会

次 第

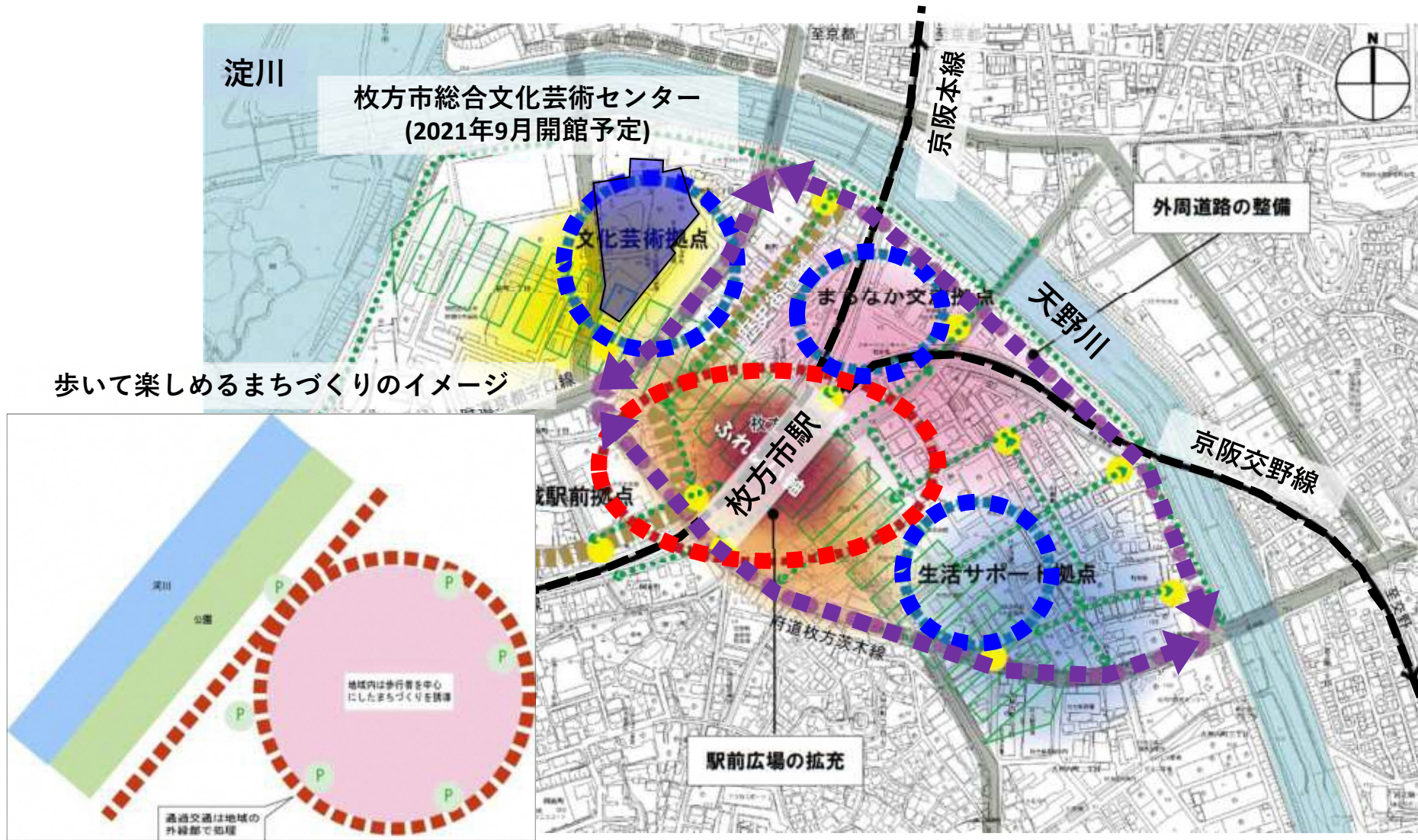
1. 開会
2. 枚方市駅周辺のまちづくりの考えについて (枚方市)
3. 本再開発事業での施設整備計画について
 - 3-1. 公共施設整備計画 (枚方市)
 - 3-2. 建築施設整備計画 (枚方市駅周辺地区市街地再開発組合)
4. 質疑応答
5. 閉会

2. 枚方市駅周辺のまちづくりの考えについて

◇枚方市の取り組み

枚方市駅周辺再整備ビジョン(H25.3)

【まちの将来像】～再発進 ひらかた
人が主役のゆとりと賑わいのまちへ～



3. 本再開発事業での施設整備計画について

◇地域の課題

1点目：交通環境の改善

適正な駅前広場及び歩行者や車両の安全な通行空間の確保

2点目：本市の玄関口としての賑わい創出

老朽化した建物の更新や駅直結の低未利用地の活用などにより、ビジョンで示す歩行者を中心とした回遊性の向上を図ることによる賑わい創出

- ・ 『枚方市駅周辺再整備ビジョン』の実現や地域課題の解決など、まちづくりの一環として、今回、組合による再開発事業を行います。
- ・ 再開発施行区域は、右の赤区域となり、青区域の駅舎などとも連携しながら魅力あるまちづくりを行います。



3. 本再開発事業での施設整備計画について

◆地域の課題 ・ ・ ・ 交通環境の改善の必要性

■ 適正なバス停の配置

- ・ バス停にバックでつける
- ・ 降り場でない場所での、降車行為



■ 歩行者の安全確保

- ・ バス待ち利用者の歩行空間への影響



■ 必要な駅前広場機能の確保



- ・ タクシーや送迎車の停車

- ・ 駅前広場内の歩行者横断



■ 更なる交通混雑

- ・ 駅前広場への通過交通



3. 本再開発事業での施設整備計画について

◆地域の課題 . . . 本市の玄関口としての賑わいの創出

■地域資源などを活かした賑わい創出

・枚方市総合文化芸術センター
(2021年9月開館予定)



・地域資源(天野川)



・地域資源(京街道)



■駅直結の立地を活かした玄関作り

・老朽化建物の更新

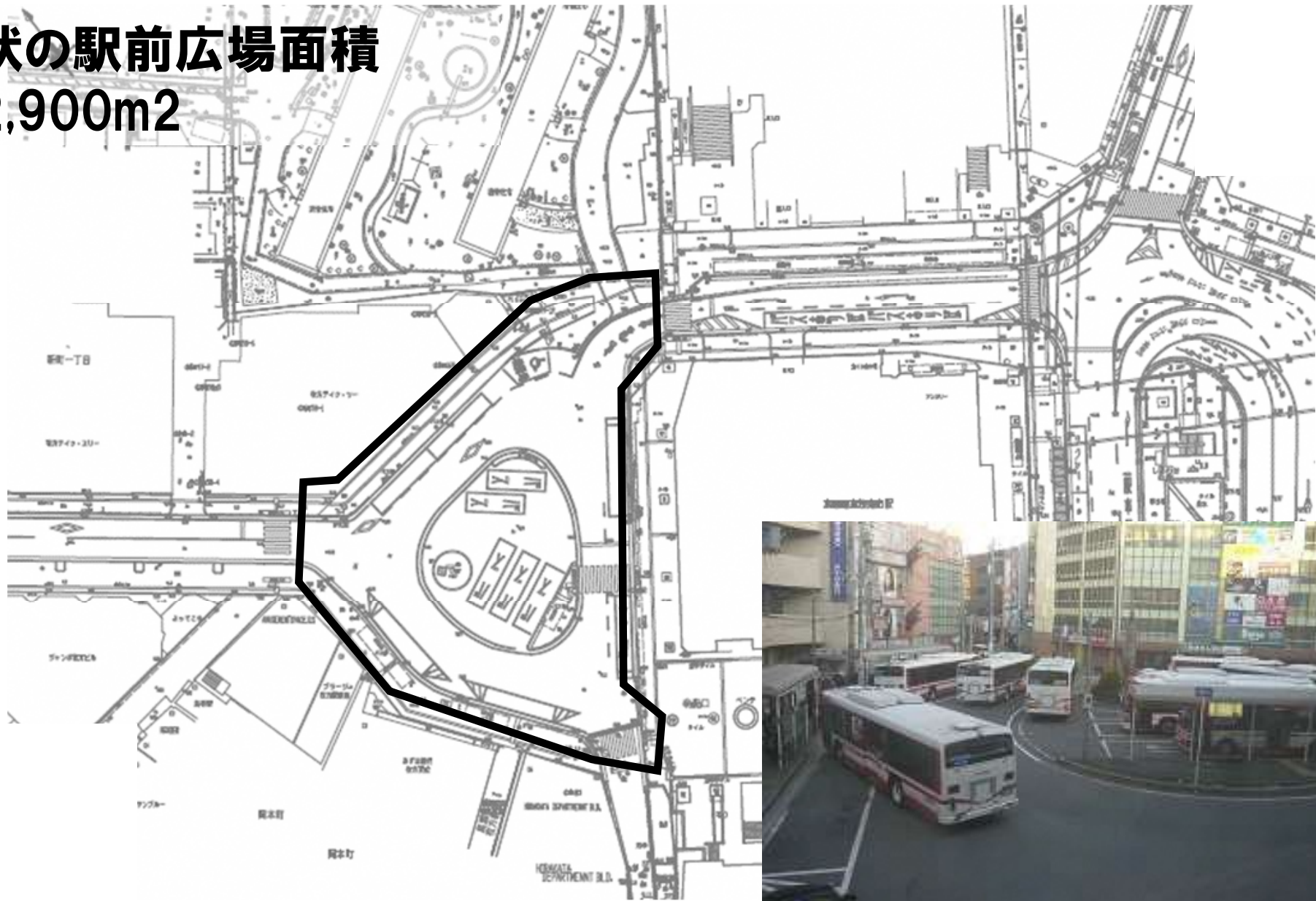


・低未利用地の活用



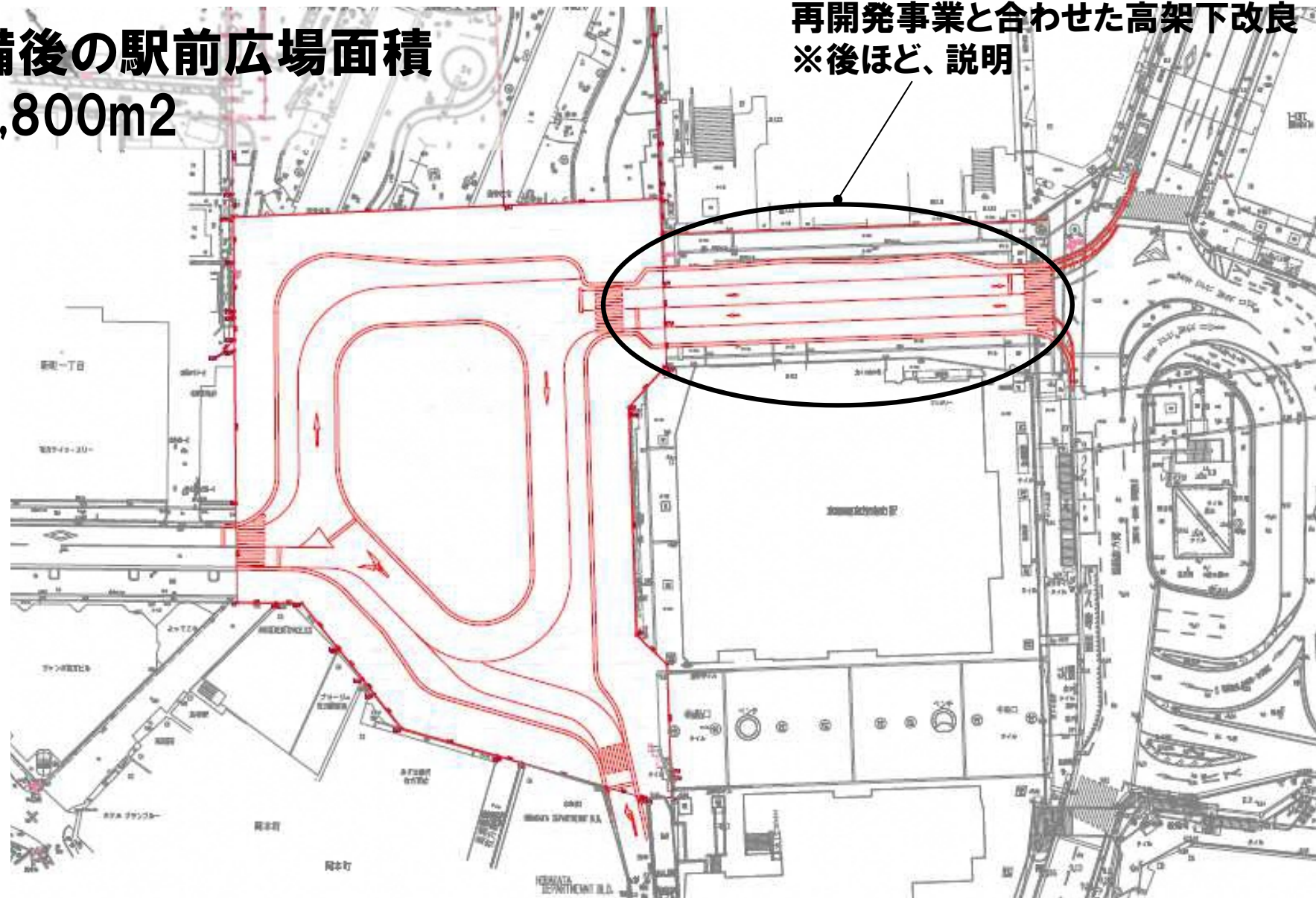
3-1. 公共施設 施設規模概要 (駅前広場)

現状の駅前広場面積
約2,900m²



3-1. 公共施設 施設規模概要 (駅前広場)

整備後の駅前広場面積
約4,800m²

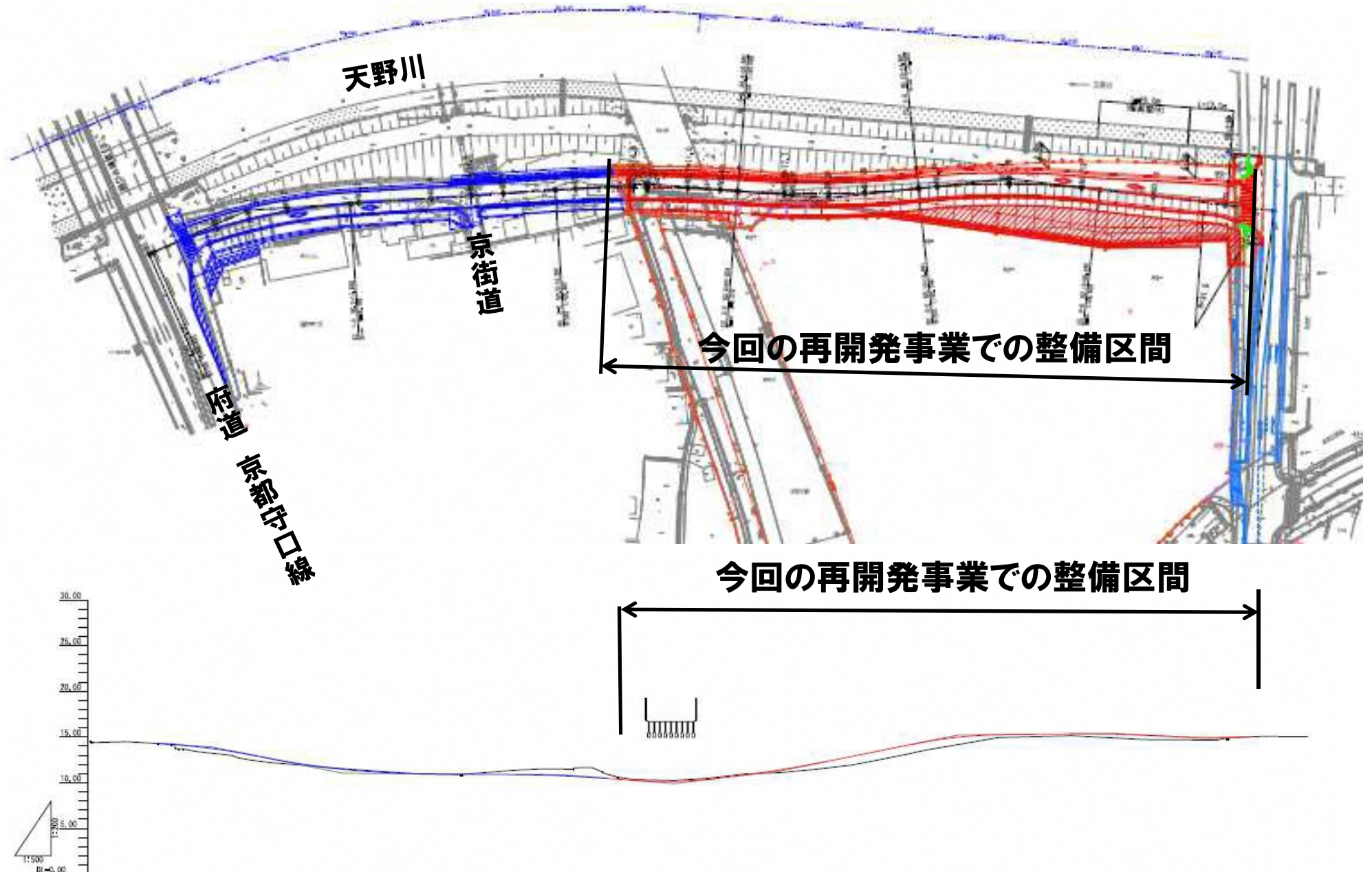


※路線バス乗降り場、タクシー乗り場、身障者バスなどのレイアウトや詳細設計については、今後、交通管理者、道路管理者、バス事業者などとの協議を進め決めていきます。

3-1. 公共施設 施設規模概要 (区画道路:外周道路)

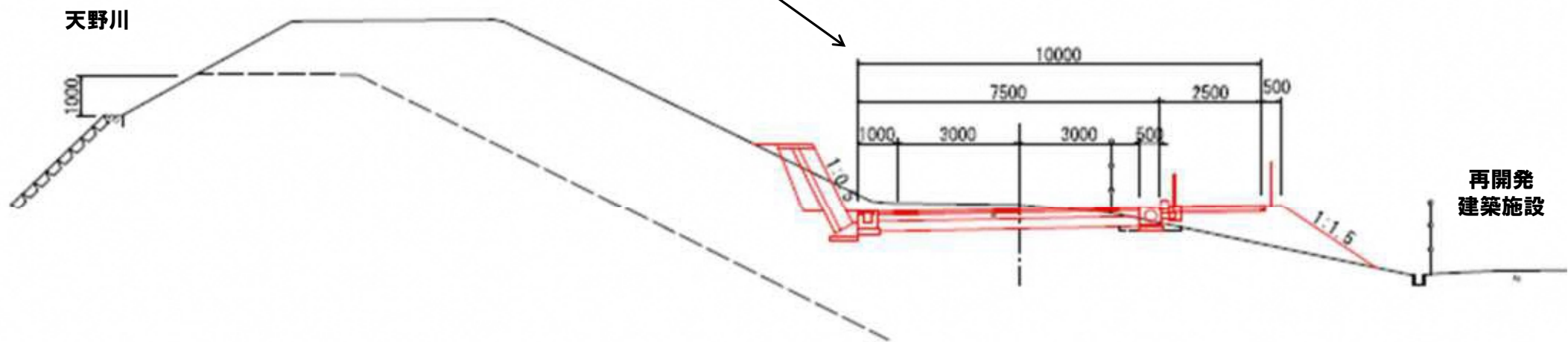
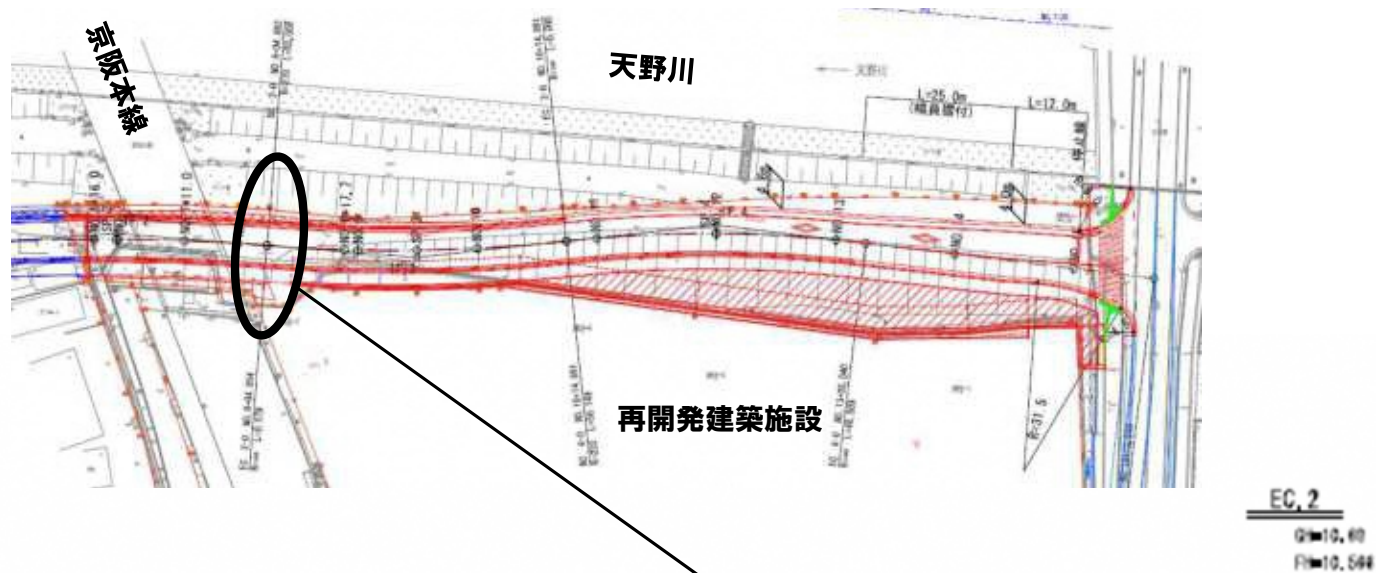


3-1. 公共施設 施設規模概要 (区画道路:外周道路)



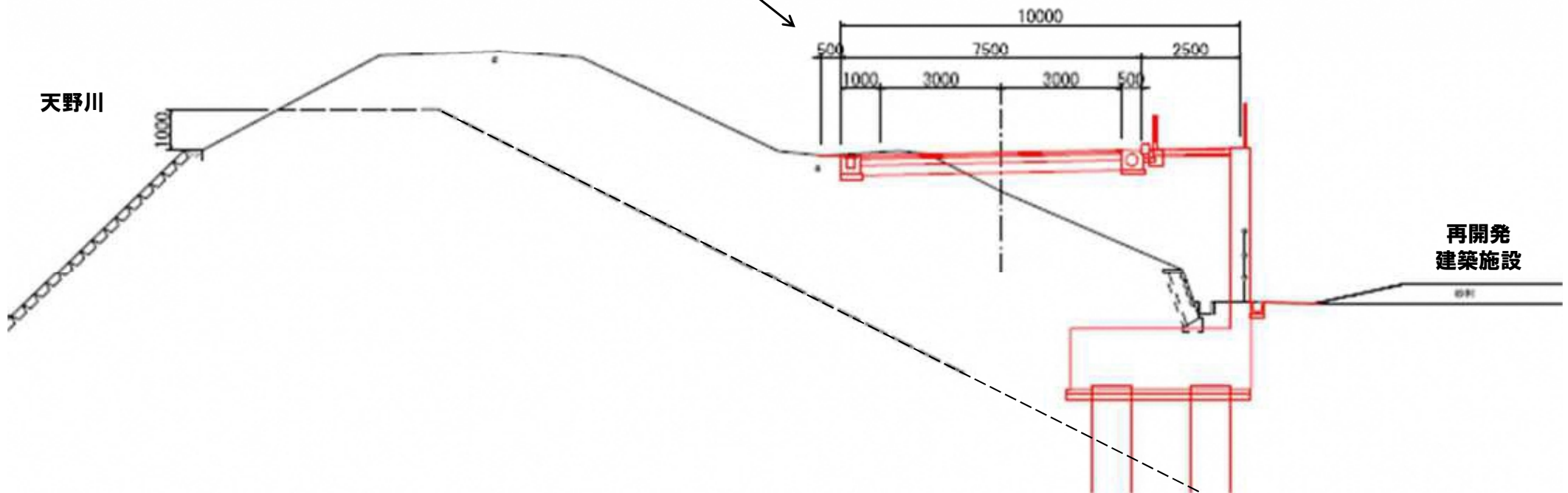
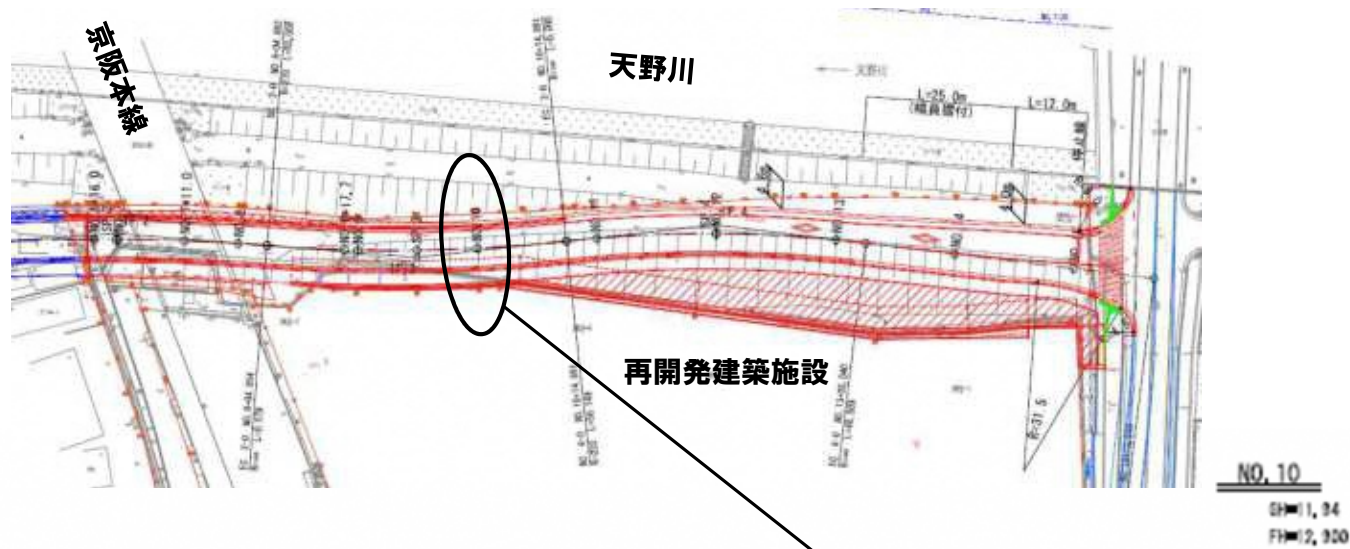
※詳細設計については、今後、交通管理者、道路管理者などとの協議を進め決めていきます。

3-1. 公共施設 施設規模概要 (区画道路:外周道路)



※詳細設計については、今後、交通管理者、道路管理者などとの協議を進め決めていきます。

3-1. 公共施設 施設規模概要 (区画道路:外周道路)



※詳細設計については、今後、交通管理者、道路管理者などとの協議を進め決めていきます。

その他、周辺の公共施設整備計画等について

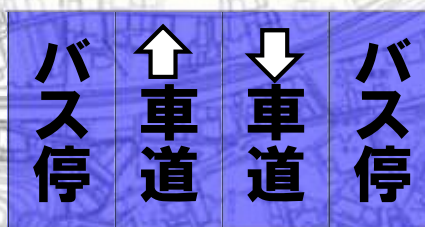
- 市道 市駅前線 無電柱化事業
・両側の歩道上にある電柱の地中化



- 外周道路整備事業
・再開発事業区域から府道京都守口線までの整備
※地権者様との合意形成が不可欠であり、協議・調整を行っていく



【整備後の車道のイメージ】



- 高架下改良、バスルートの再編
(交通・道路管理者及びバス事業者などと協議中)
 - ・車道幅員拡幅(路線バスの交互通行)
 - ・一部バス路線の振り替え
 - ・一般車両の通過抑制を検討

高架下改良、バスルートの再編

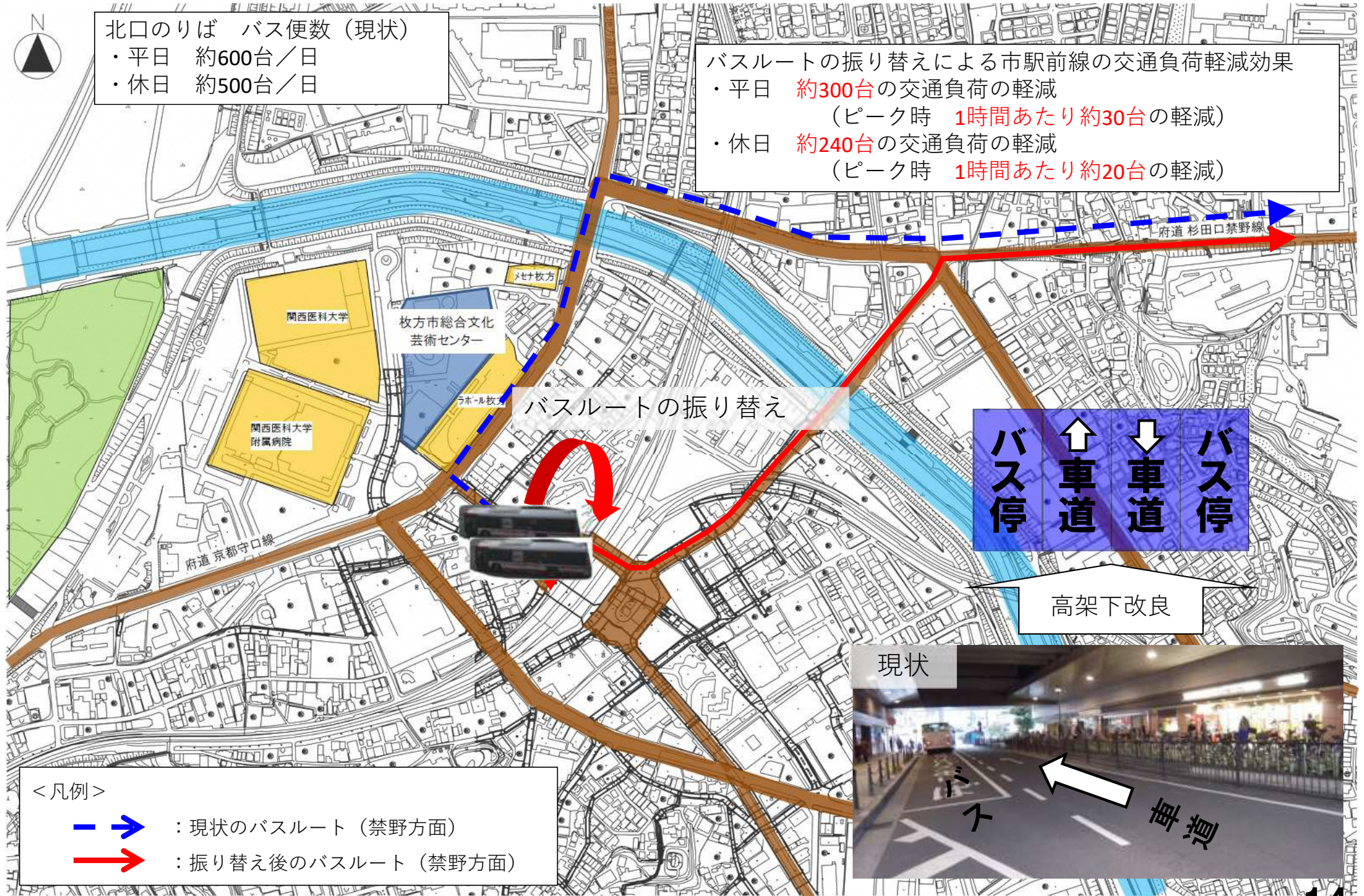


北口のりば バス便数 (現状)

- ・平日 約600台/日
- ・休日 約500台/日

バスルートの振り替えによる市駅前線の交通負荷軽減効果

- ・平日 約300台の交通負荷の軽減
(ピーク時 1時間あたり約30台の軽減)
- ・休日 約240台の交通負荷の軽減
(ピーク時 1時間あたり約20台の軽減)



バスルートの振り替え

バス停 ↑車道 ↓車道 バス停

高架下改良

< 凡例 >

- ▶ : 現状のバスルート (禁野方面)
- ▶ : 振り替え後のバスルート (禁野方面)

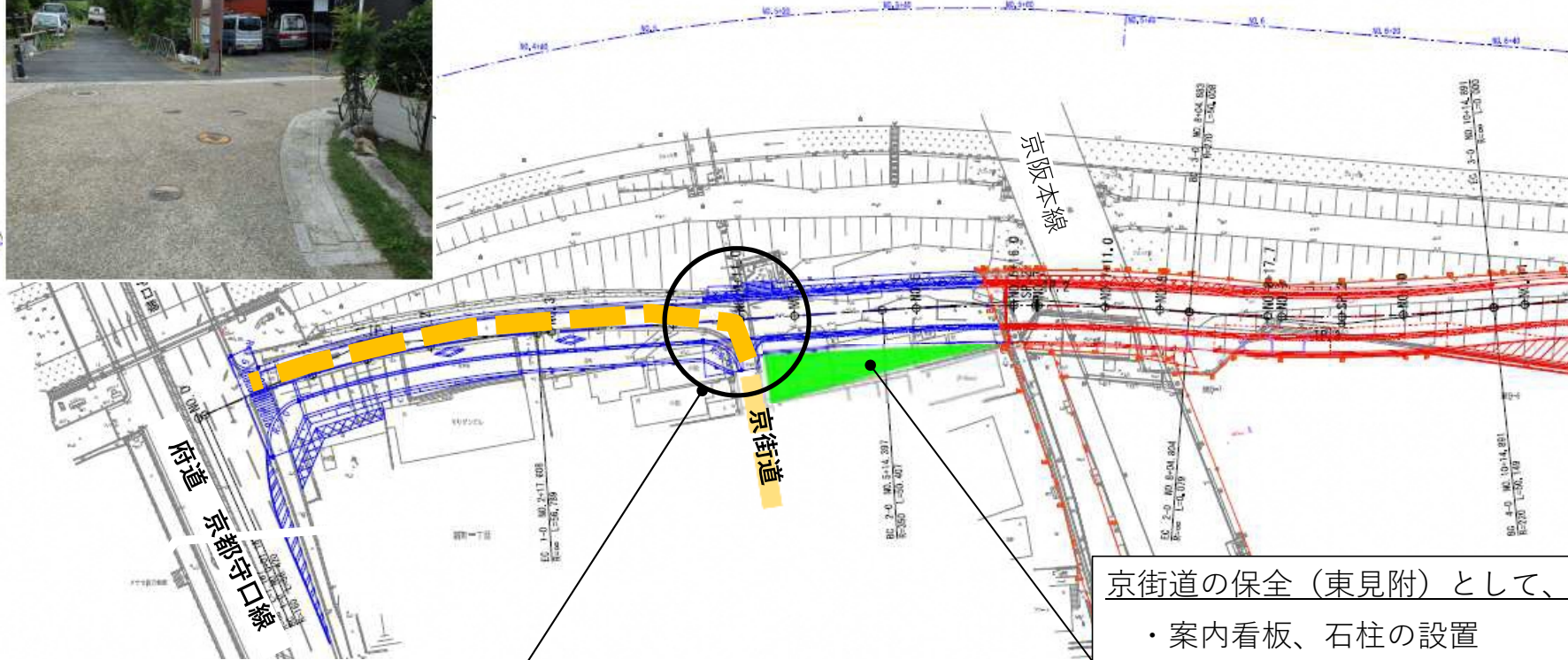


※参考資料：京阪バス時刻表(2019年4月1日改正)

外周道路整備：京街道への通過交通抑制対策

京街道の保全、進入抑制対策

現況写真



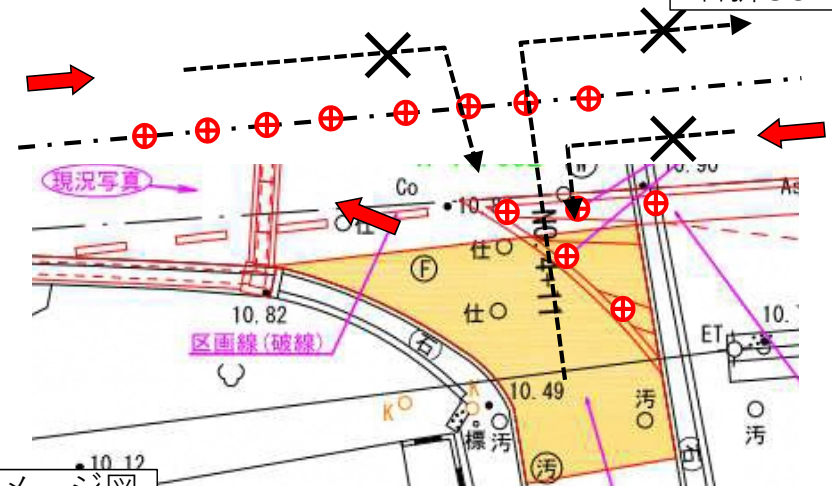
京街道の保全（東見附）として、広場を整備

- 案内看板、石柱の設置
- ベンチ等の整備
- 観光者への説明場所 など

右折INがしにくい構造

右折OUTがしにくい構造

左折INがしにくい構造

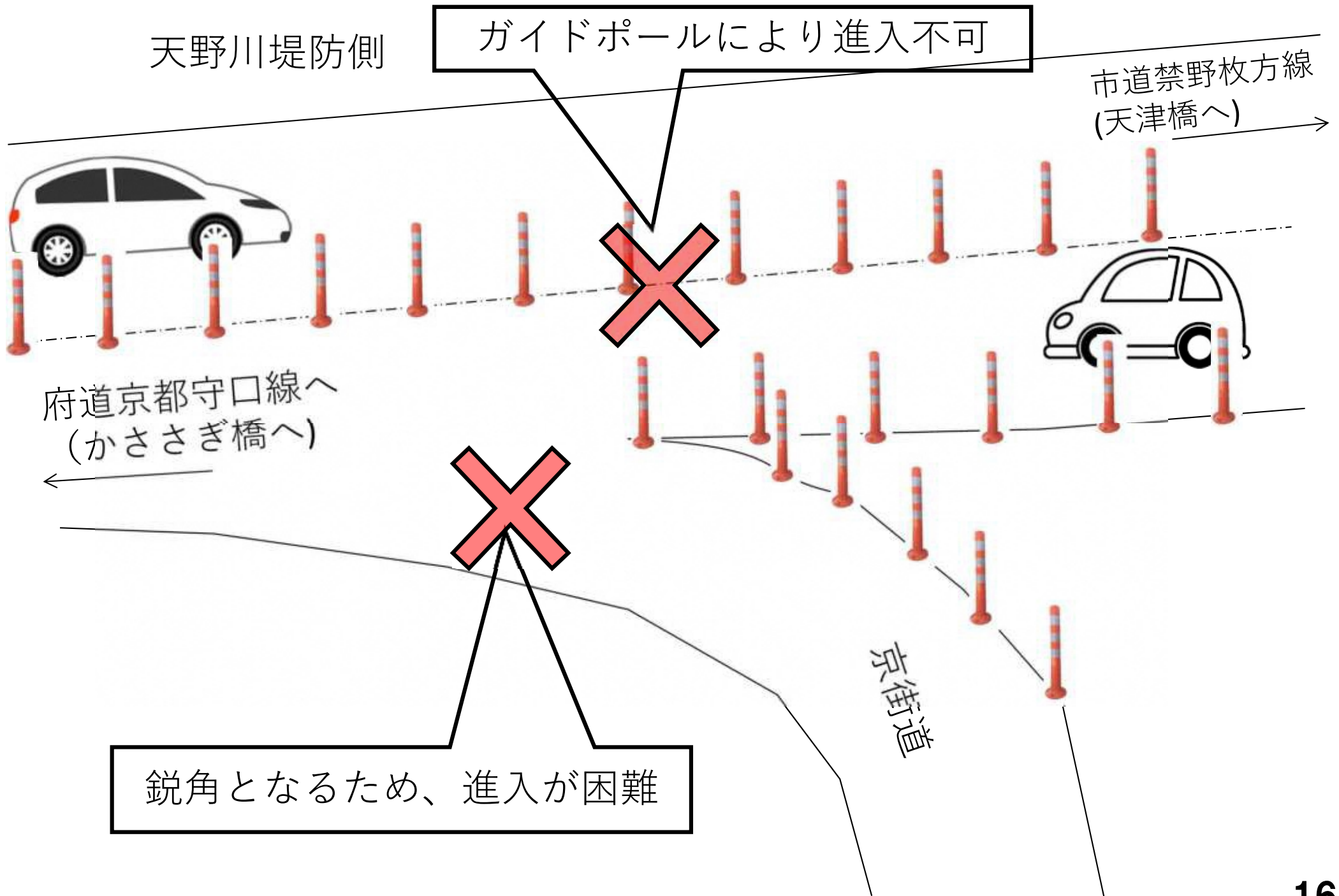


参考) 区画線(導流帯)及びラバーボールの設置



イメージ図

外周道路整備：京街道への通過交通抑制対策



その他の対策

京街道から市道 市駅前線へ出るときに合流しにくい



あわせて、無電柱化での対応について電線管理者や道路管理者などと検討



【対応案】

● 停車抑制の路面標示を設置

3-2. 本再開発事業での施設整備計画について 建築施設整備計画(枚方市駅周辺地区市街地再開発組合)

1. まちづくりコンセプト
2. 整備概要
3. 事業スケジュール(予定)
4. 周辺への影響

地区の現状・課題

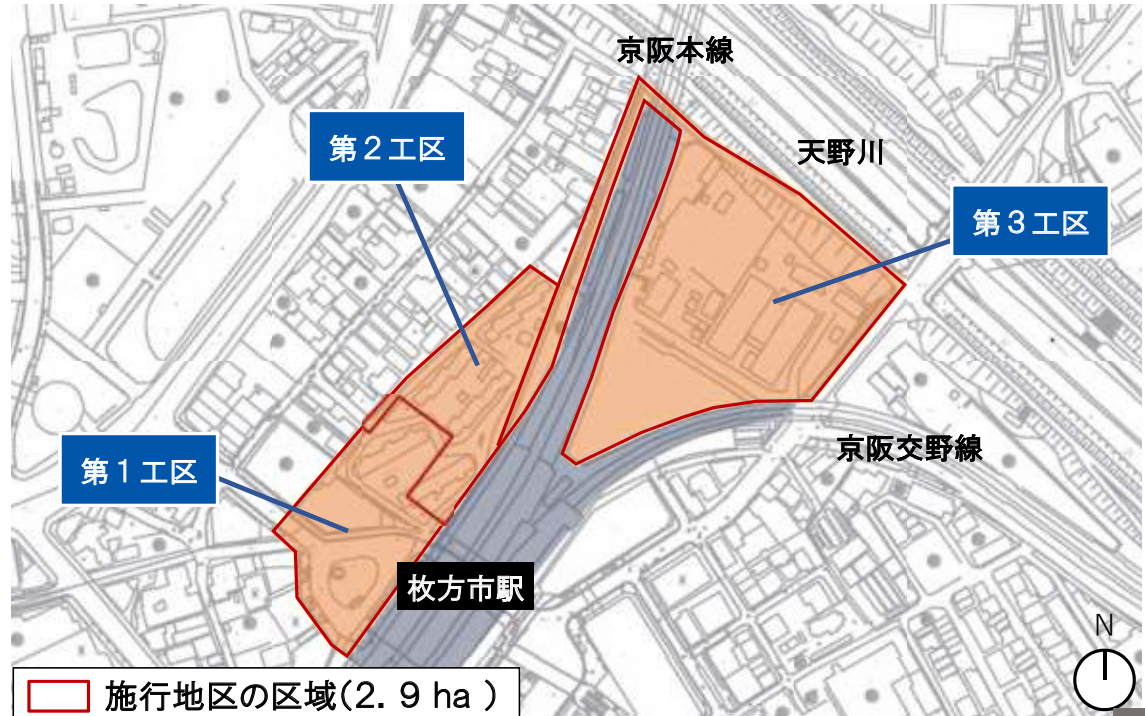
- 旧耐震の老朽建物が建ち並び防災上課題を抱えています。
- 土地の高度利用や都市化が一定なされ、枚方市駅周辺の活性化を牽引してきましたが、次世代に向けた都市機能の更新時期を迎えています。
- 老朽建物、低未利用地が存在し、枚方市駅周辺の活性化や賑わい創出が十分になっていません。
- 現状の鉄道・バスの乗降客数や新たな周辺施設整備等に相応しい駅前広場の交通機能の改善が求められています。



現況写真

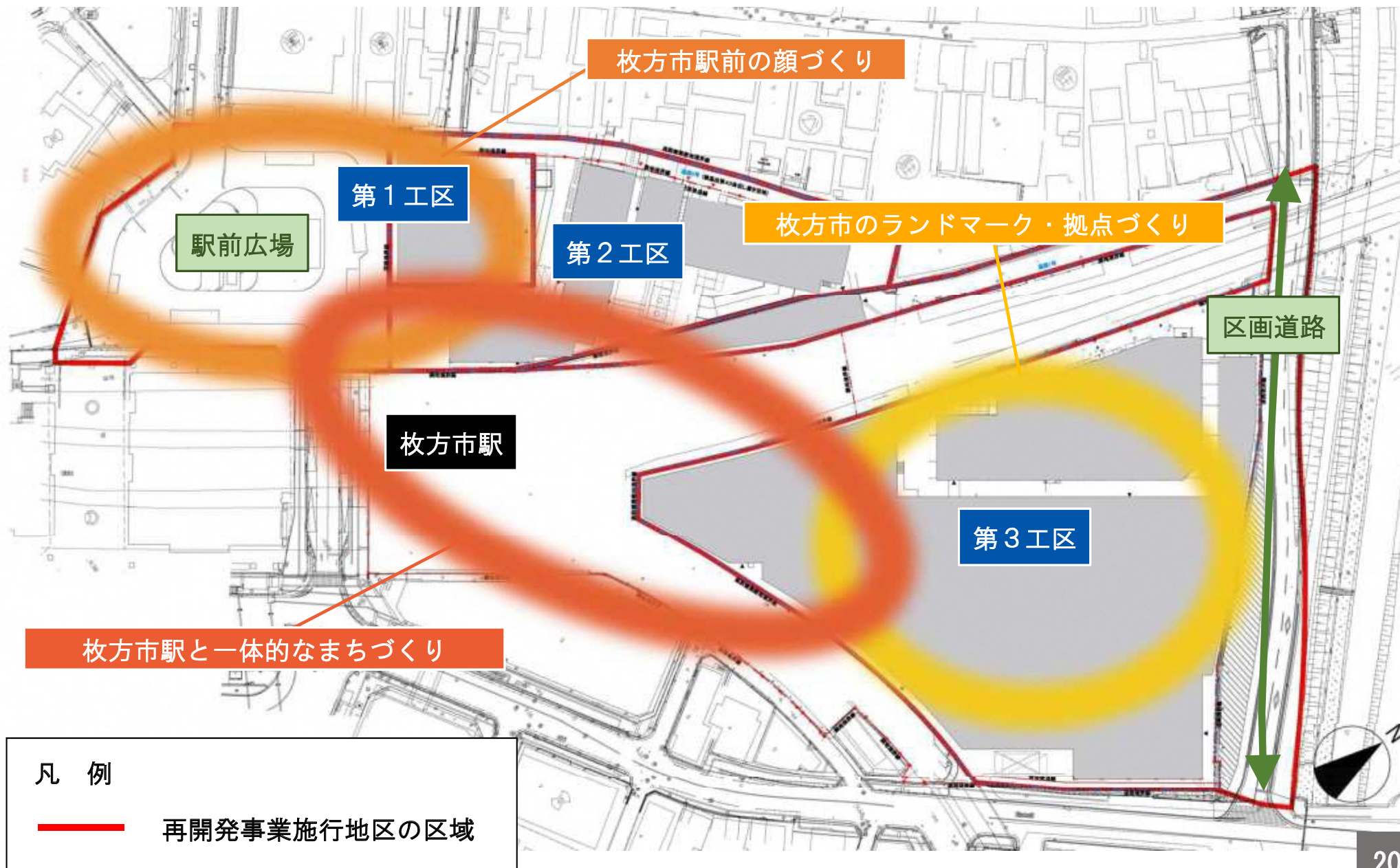
再開発事業施行地区の区域

- 再開発事業は、枚方市のまちづくりの一環として行われます。
- 枚方市駅周辺を一体的に土地の高度利用と有効活用を図るため、枚方市で策定した『枚方市駅周辺再整備ビジョン』における③街区が、今回の再開発事業の施行地区の区域となります。



3-2-2. まちづくりコンセプト

- 枚方市駅北側（第1工区・第2工区）では、駅前広場の拡充と枚方市駅前の顔づくりを行います。
- 枚方市駅東側（第3工区）では、枚方市のランドマークと拠点づくり、区画道路の整備を行います。
- 枚方市駅と一体的に整備し利便性・回遊性の向上を図り、まち・駅・自然（天野川）がつながるまちづくりを行います。

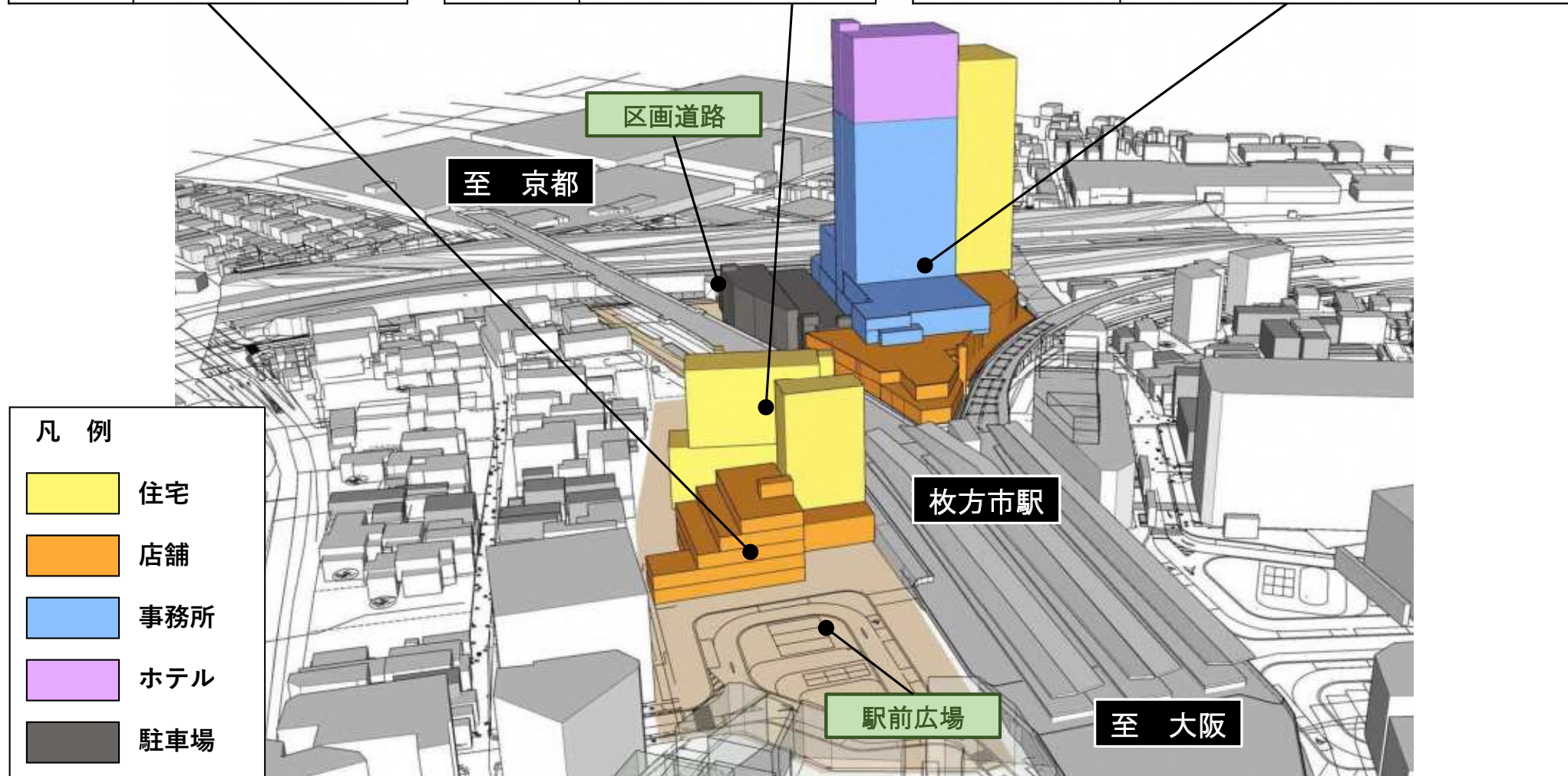


3-2-3. 整備概要

第1工区	
延床面積	約5,900㎡
構造	鉄骨造
階数	地下1階、地上6階
建物高さ	約25m
主用途	店舗

第2工区	
延床面積	約8,900㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上14階
建物高さ	約45m
主用途	店舗、住宅、駐車場

第3工区	
延床面積	約95,300㎡
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上29階
建物高さ	約115m
主用途	店舗、事務所、ホテル、住宅、駐車場

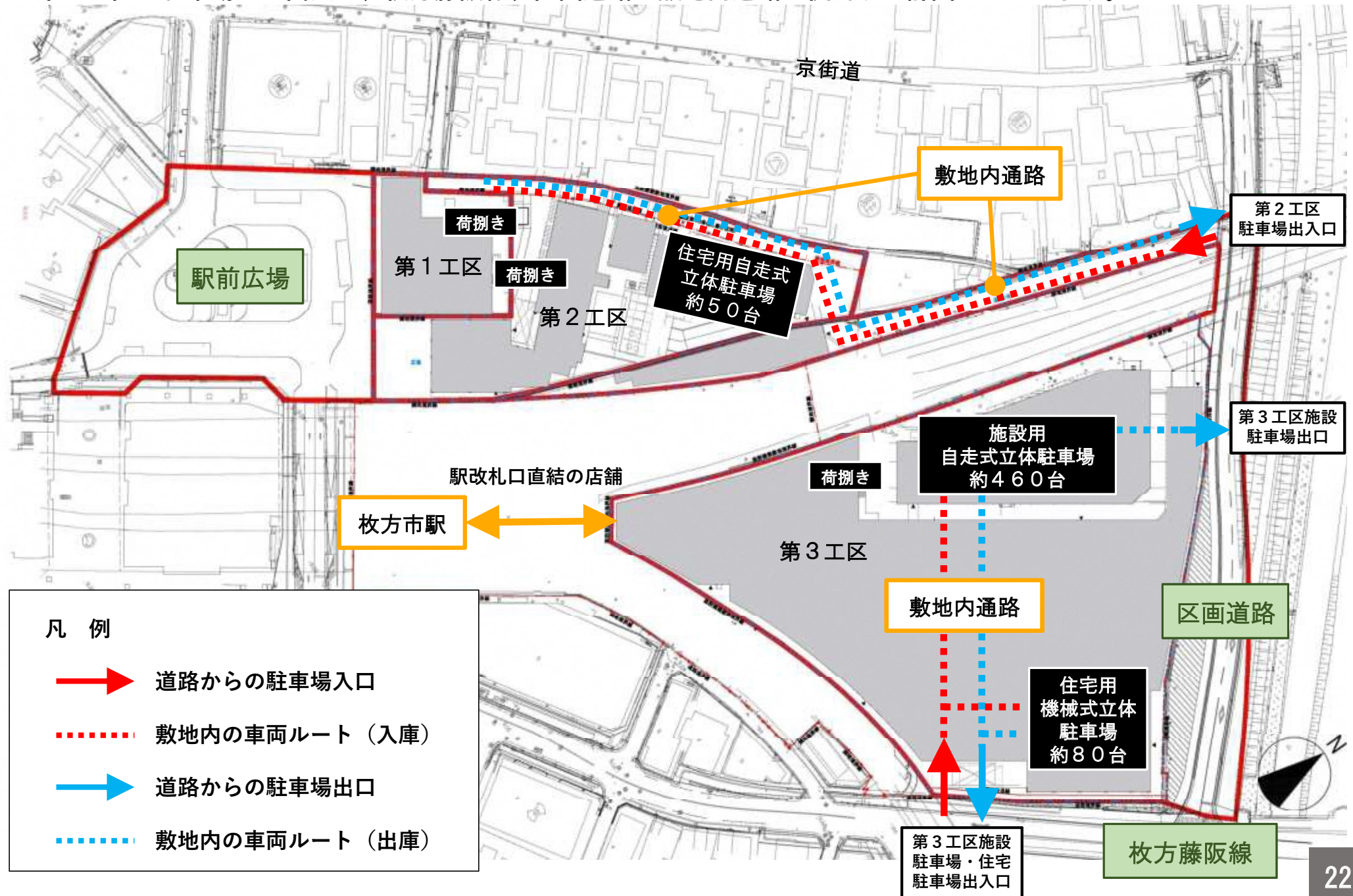


※西側（枚方ビオルネ側）から再開発区域を見た鳥瞰イメージ図です。

※建物のボリューム感を表したイメージであり、デザイン・色等の詳細は今後の設計により決定します。

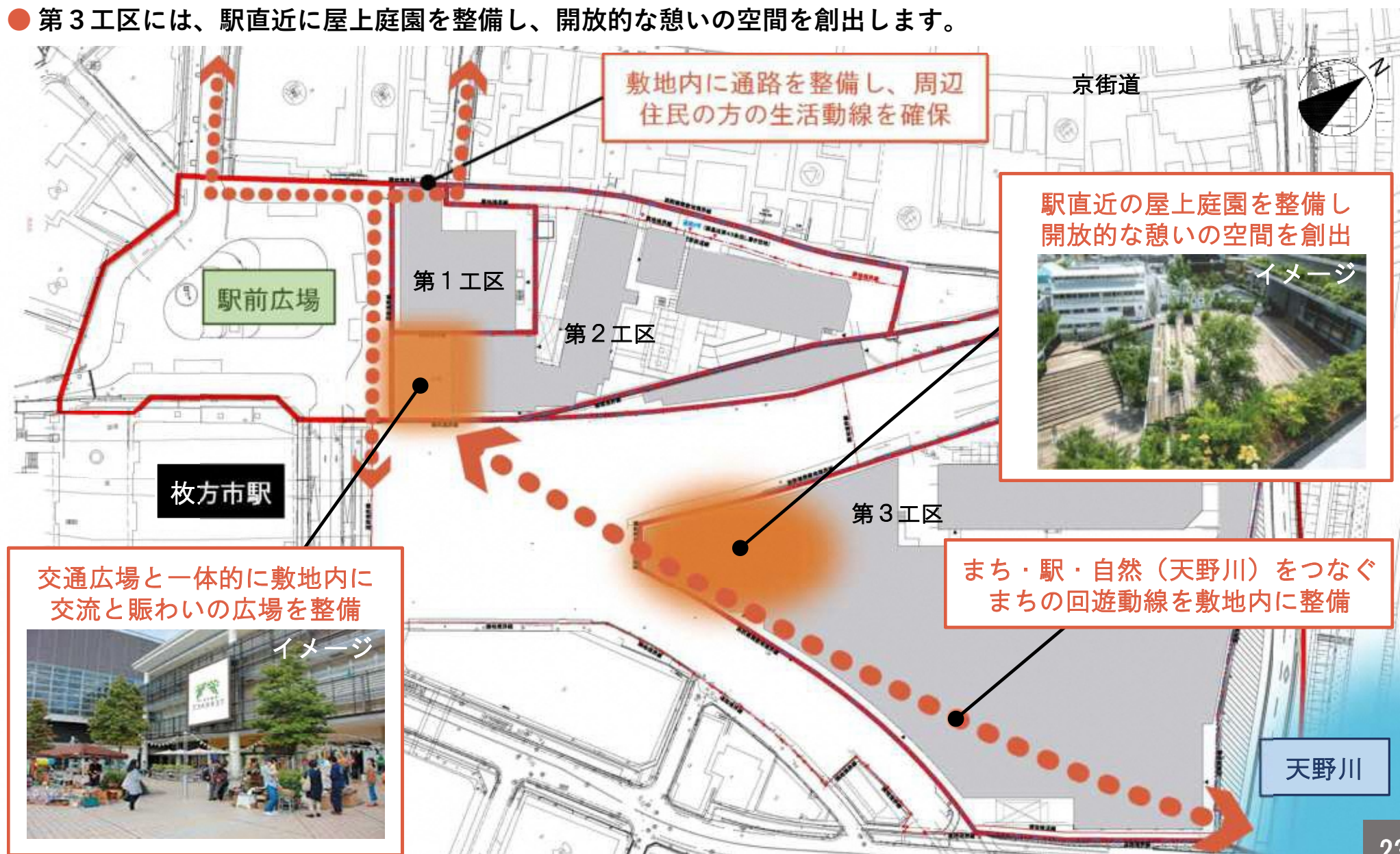
3-2-3. 整備概要

- 第2工区の駐車場への出入は、区画道路と敷地内通路を使用する計画としています。
- 第3工区の駐車場への出入は、枚方藤阪線、区画道路と敷地内通路を使用する計画としています。



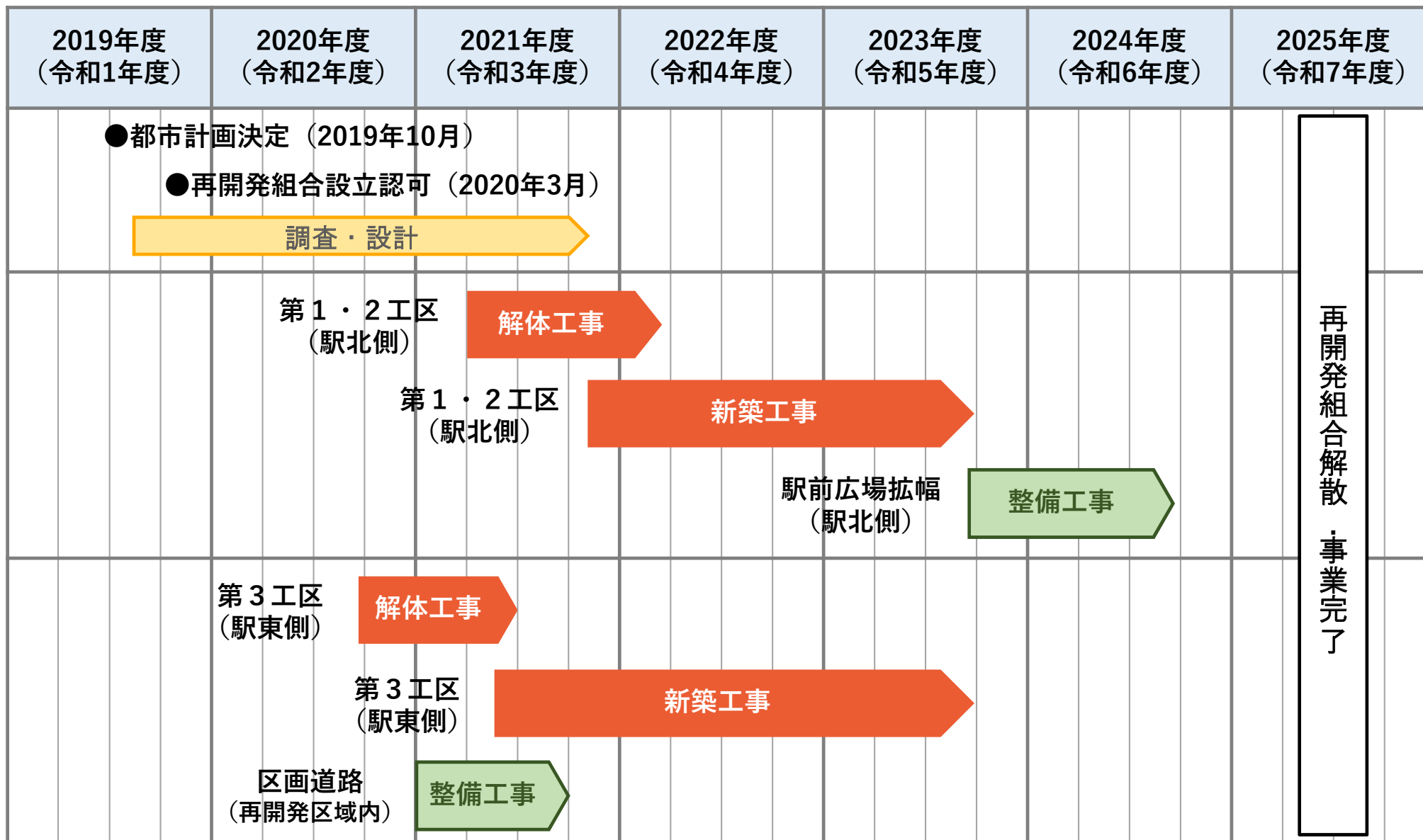
3-2-3. 整備概要

- まち・駅・自然（天野川）をつなぐ歩行者通路を敷地内に整備し、まちの回遊性の向上を図ります。
- 第1工区には、敷地内に通り抜け通路を整備し、周辺住民の方の生活動線を確保します。
- 第2工区には、敷地内に交通広場と一体的に広場を整備し、交流と賑わいの空間を創出します。
- 第3工区には、駅直近に屋上庭園を整備し、開放的な憩いの空間を創出します。



3-2-4. 事業スケジュール(予定)

- 2020年度（令和2年度）に第3工区から順次解体工事を実施予定です。
- 工事の詳細については、別途11月25日と12月7日に説明会を開催する予定です。



※上記スケジュールは変更する場合があります。

※上記スケジュールは再開発事業の施行地区内に関するものになります。

3-2-5. 周辺への影響

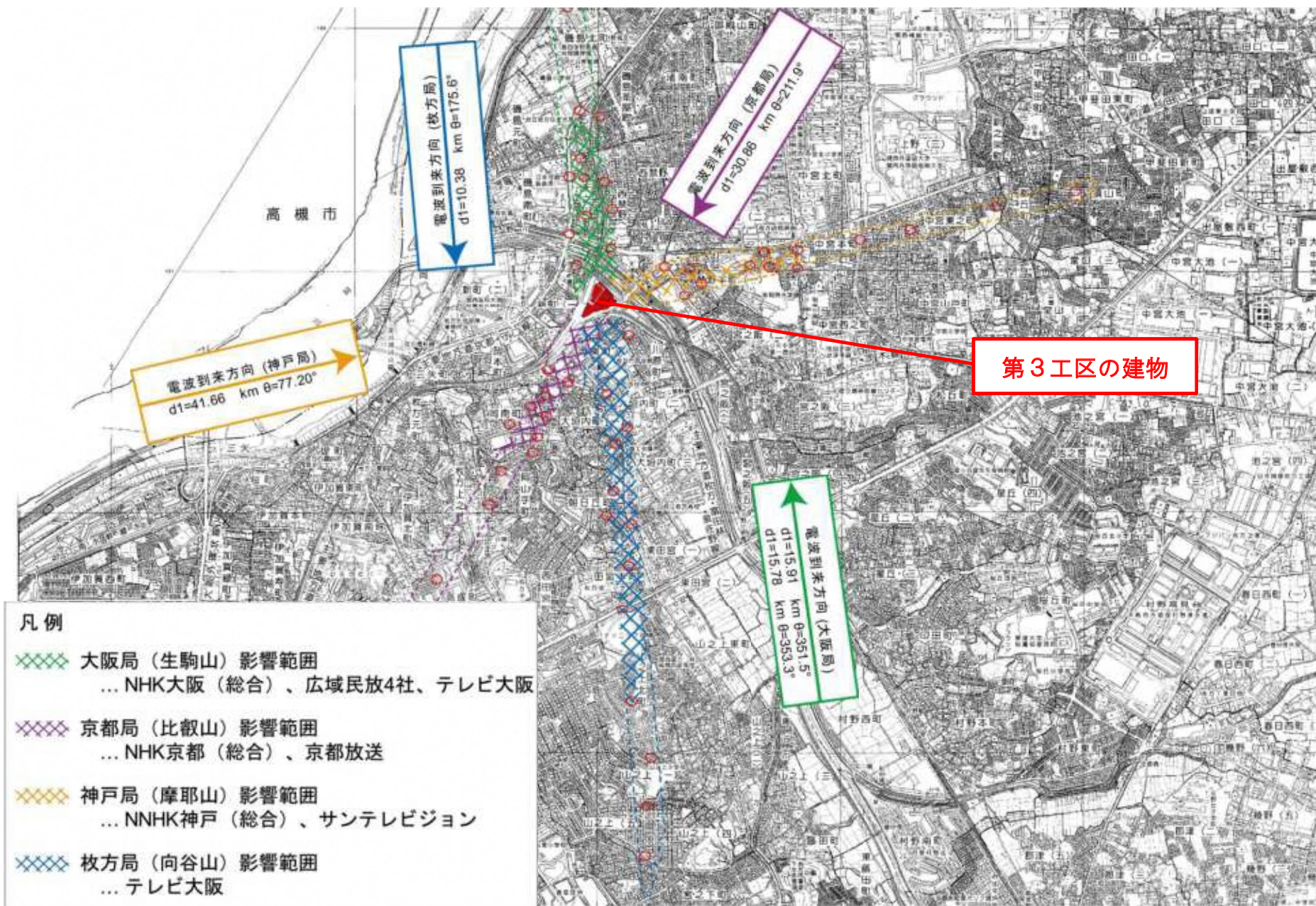
交通量 : 発生集中交通量に伴う周辺交通への影響を調査・分析し、必要な対策を講じます。



※交差点の需要率とは、交差点の交通量に対する処理能力の指標です。値が0.8以上で渋滞が発生するとされています。

3-2-5. 周辺への影響

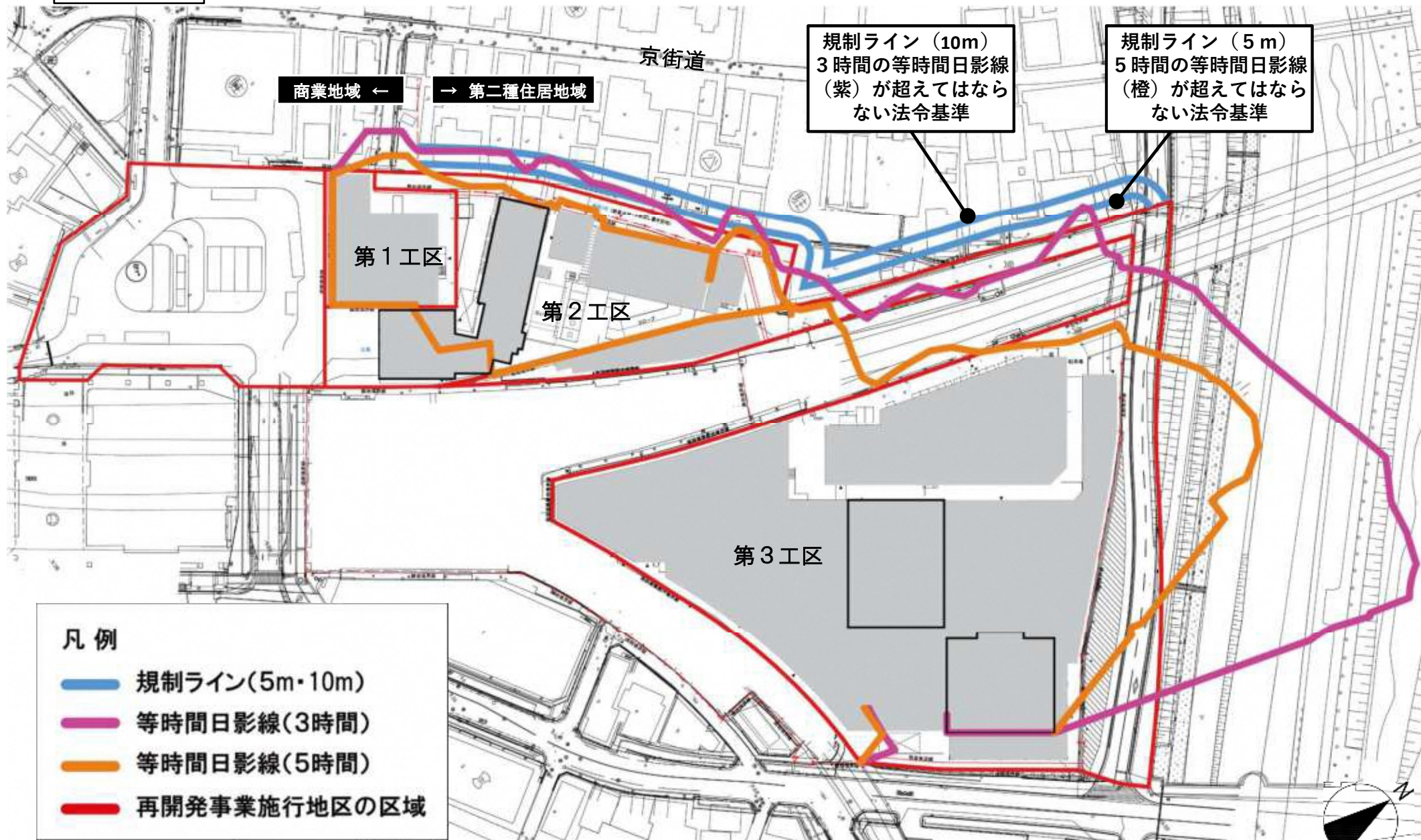
テレビ電波の調査範囲 : 電波の対策が必要な範囲を今後調査で確認し、必要な対策を講じます。



※上記は、第3工区で整備する建物に対する机上調査の概要で、実際の対策範囲は今後の調査で確認します。

3-2-5. 周辺への影響

日影 : 法令を遵守し、適切に計画をしています。



※等時間日影線とは、1年のうち最も影が長く出る冬至日（12月22日ごろ）において、一定の時間続けて建物の影が出る部分を結んだ線です。等時間日影線（3時間）の場合、この線より再開発の建物側が、1日のうち3時間は日影になることを表します。

○今後調査・分析予定の項目

- ・風環境のシミュレーション
- ・周辺建物の現況調査

今後、計画の内容が決まりましたら
枚方市駅周辺地区市街地再開発組合
のホームページにてお知らせします。

(令和2年11月13日に開設予定です)

URL : hirakataPJ.com

大阪コロナ追跡システム

ご協力をお願い

■大阪コロナ追跡システムとは

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことが目的
- ・施設等の利用の際にQRコードからあなたのメールアドレスを登録
- ・あなたが登録した日と同じ日に同じ施設を利用された方に感染が確認された場合、注意喚起のメールを送信
- ・ご自身に感染が判明した場合は、大阪府から登録したメールアドレス等をお伺いさせていただくこととなりますので、ご協力をお願いいたします。
(なお、同日に登録した施設等の利用者に注意喚起メールが発信されます。)



■登録の方法 登録は3ステップです。

1. スマートフォン等でQRコードを読み取る。
2. メールアドレスを登録する。
3. 登録確認メールが届く。

登録確認メールが届かない場合は登録できていない可能性があります。
お手数ですが再度ご登録をお願い致します。

■ご注意ください

- ◆入力が必要な事項はメールアドレスのみです。
- ◆同じ場所であっても訪問するたびに読み込んで登録してください。

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。